

日本の古典を探すには

日本の古典（江戸時代までに書かれた本）の探し方をご案内します。

2階 参考室



資料の配置場所



請求記号

910.2

025.1

91（日本文学）及び02（図書・書誌学）から始まる日本の古典を探すための資料は左の場所にあります。

また、出版年の古い資料は書庫に置かれています。

1 『国書総目録』の利用法と関連図書

『国書総目録』補訂版 全9巻 (岩波書店 1989-1991) [R025.1]

日本の古典を探す場合に、まず参照する資料。

国初から慶応3（1867）年までに日本人の著編撰訳した50万を超える和文・漢文書籍の総合目録。50音順書名を項目に、別称・分類・著編者・成立などの記述と、所蔵先や活字版の情報が記されている。第8巻は「叢書目録」と「補遺」、第9巻は「著者別索引」。

『古典籍総合目録』全3巻 (岩波書店 1990) [R025.1]

『国書総目録』の編集形態を踏襲した続編。国文学研究資料館の作成による古典籍総合データベースに基づき、昭和63（1988）年度入力分までの約4万3,000点を収録。活字翻刻本の情報は不掲載。

『国書人名辞典』全5巻 (岩波書店 1993-1999) [R281.033]

『国書総目録』収録の著編者のうち、伝記が判明した人物約3万人について解説した辞典。

(1) 著者名のヨミがわからない場合

『日本史人名よみかた辞典 1』(日外アソシエーツ 1999) [R281.03]

古文書等に記された、古代から幕末までの日本人名の読み方を調べる辞典。神名、架空、伝承名、一部外国人名を含む 6 万 8,000 件を収録。排列は親字の画数順。

『日本史人名よみかた辞典 2』(日外アソシエーツ 2020) [R281.03]

1999 年刊「日本史人名よみかた辞典」の追補版。主に歴史上の人物を対象とし、前版未収録の日本人名 6 万 4,824 人を収録。

(2) 書名の読みがわからない場合

書名の読みがわからないものは、画数から引ける「字画索引」のある次の資料を参照。

『日本古典文学大辞典 第 6 卷』(岩波書店 1985) [R910.2]

『古典文学作品名よみかた辞典』(日外アソシエーツ 2004) [R910.33]

『全集・叢書細目総覧 古典編索引』(紀伊国屋書店 1977) [R027.4]

『国書読み方辞典』(おうふう 1996) [R025.1]



2 日本の古典を探すための主な資料

(1) 目録・事典類

『日本古典籍書誌学辞典』(岩波書店 1999) [R020.21]

近世以前の和書や関連のある漢籍に関する書誌学用語を中心に、古写本、古筆、書肆、蔵書家名などを項目として採録した辞典。「古典籍便覧」としても活用できる。事項、人物、作品等約 3,400 項目の 50 音順配列。

『全集・叢書細目総覧』全 3 冊 (紀伊国屋書店 1973-1989) [R027.4]

国立国会図書館が所蔵する、明治以降に刊行された全集・叢書に収録されている資料の細目集成。配列は全集・叢書名の 50 音順で、内容の細目（作品名）を、国立国会図書館の請求記号とともに総覧できる。巻末に難読索引あり。

『世界名著大事典』オリジナル新版補遺版 全 8 冊 (平凡社 1977) [R028]

古今東西のあらゆる分野の古典的な書物 1 万 1,000 点を厳選して、書名を 50 音順に並べ、解説を加えた資料。第 7 巻は書名索引（50 音順）、第 8 巻は著者索引（50 音順）、欧文索引。「オリジナル新版補遺版」には 1960～80 年代の新たな作家の作品を収録。

『古典文学全集・翻刻書・研究書総目録』(日外アソシエーツ 1996) [R910.31]

明治元（1868）年から平成 7（1995）年までの 128 年間に日本国内で刊行された日本文学（古代～近世）に関する全集・翻刻書・復刻本・影印本・研究書・注釈書などを収録。児童書や受験参考書、問題集は除く。著者名索引と事項名索引あり。

『国文学複製翻刻書目総覧』(日本古典文学会 1982) [R910.31]

慶応 4（1868）年までに日本人の著編撰訳した書籍のうち、昭和 20（1945）年 8 月から昭和 55（1980）年 12 月までに刊行された日本文学と日本文学に関連のある書籍の複製・翻刻（復刊本を含む）を総覧した目録。

書名の読みの 50 音順配列、巻末には「収載叢書全集一覧」「収載雑誌紀要一覧」あり。

『日本古典文学大辞典』全 6 卷 (岩波書店 1983-1985) [R910.2]

近世末までの日本文学全般、日本語学、関連分野の研究成果を集編纂した辞典。

事項、人物、作品、編著等の項目が 50 音順に約 1 万 3,000 項目収載され、作品、編著の項目では、複製・翻刻を紹介。第 6 卷に総索引および難読訓一覧あり。

『日本古典文学大事典』(明治書院 1998) [R910.2]

上代から近世までの日本文学と隣接分野を対象とし、主要な作者名・芸能者名・書名・作品名・事項など約 8,000 項目を 50 音順に収録。

翻刻・影印・複製については、資料として有効なものが、参考文献については主要なもの、最新のものが掲げられている。

『日本古典文学全集・内容総覧』・『日本古典文学全集・作品名総覧』第 1 期・第 2 期

(日外アソシエーツ 2005,2019) [R910.31]

『内容総覧』の作家名索引と、作品名を 50 音順編集した『作品名総覧』によって、収録されている全集をたどることができる。『作品名総覧』には、和歌・俳句、書簡等は収録されていない。

『日本古典文学案内 現代語訳・注釈書』(日外アソシエーツ 2009) [R910.31]

上代から近世までの日本文学の現代語訳・注釈書を、作品別・作家別にまとめた目録。

『日本隨筆辞典』(東京書籍 1986) [R914.033]

未刊・既刊を問わず、江戸時代を中心に隨筆約 2,400 点を収録し解説した辞典。

特定分野に重点をおいて記された隨筆には、地誌、風俗等の分類が付されている。各項目には写本・板本・自筆本の所在や翻刻の記載もある。かな見出しの 50 音順配列、巻末に著者別書名索引あり。

『日記解題辞典』(東京堂出版 2005) [R210.03]

平安時代から江戸時代末期までの主要な日記 500 余を選び、基本的事項を解説した辞典。

『国史大辞典』全 15 卷・17 冊 (吉川弘文館 1979-1997) [R210.033]

日本歴史の全領域を網羅、主要な典籍・古文書・記録や書誌学・古文書学・史料学、史学史関係の項目も多数採取。第 15 卷は上「補遺と史料・地名索引」、中「人名索引」、下「事項索引」の 3 冊。

『日本史文献解題辞典』(吉川弘文館 2000) [R210.03]

『国史大辞典』の中から、日本史を研究する上で重要な史料を選びまとめた辞典。配列はかな見出しの 50 音順で、巻末に典籍索引、人名索引、事項索引あり。



「国書データベース」(国文学研究資料館)

<https://kokusho.nii.ac.jp/>



日本の古典籍の総合目録（一部、漢籍・明治本を含む）。書名、著者名、分類、年代から検索でき、古典籍の書誌・所在情報を著作及び著者の典拠情報と共に表示。

(2) 日本古典文学全集・叢書類（現代語訳・註釈のある主なもの）

『日本古典文学大系』全 102 卷（注釈）（岩波書店 1975-1980）[918]

総索引 2 冊

『新日本古典文学大系』全 105 卷（注釈）（岩波書店 1989-2011）[918]

総目録・索引 5 冊

『新編日本古典文学全集』全 88 卷（注釈・訳）（小学館 1994-2002）[918]

